奈良工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	海外研修Ⅳ

科目基礎情報

科目番号	0033	科目区分	一般 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	機械工学科	対象学年	4
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	なし/本校で実施している，国際交流等の報告会発表が参考となる。		
担当教員	鍵本 有理		

到達目標

・異文化に対する理解を深めるとともに，他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め，自国の文化についても紹介ができる。
・英語をはじめとする，母語以外の外国語を使って，一定のコミュニケーションを図ることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	異文化に対する理解を深めるとともに、他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め、自国の文化についても紹介ができる。	異文化に対する理解がある。自国の文化について、簡単な外国語で紹介ができる。	異文化に対する理解が不十分で、他者・他国の立場に立ってその価値観の違いの認識ができない。自国の文化について、紹介できない。
評価項目2	英語をはじめとする、母語以外の外国語を使って、一定のコミュニケーションを図ることができる。	英語をはじめとする、母語以外の外国語を使って、ある程度コミュニケーションを図ることができる。	英語をはじめとする、母語以外の外国語を使ったコミュニケーションを図ることができない。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程（本科１～５年）学習教育目標 （３） JABEE基準 (a) JABEE基準 (f) システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 A-1 システム創成工学教育プログラム学習・教育目標 C-1

教育方法等

概要	グローバル化が叫ばれている現在，海外の教育機関への語学留学，短期・長期の海外研修，国際交流プログラムに対する学生の積極的な参加を促すとともに，国際的な視野の涵養，異文化に対する意識の向上，学習への意欲を高めることを目的とする。
授業の進め方・方法	本校が実施する国際交流プログラムの他，他機関主催の海外派遣プログラムなどにおいて，研修先で用意された研修内容を体験することになる。 なお，研修先においては各自が目標を設定し，積極的な態度で臨む必要がある。
注意点	関連科目 　これまでの英語の学習内容だけでなく，歴史や文化に関する幅広い知識が求められる。 学習指針 　研修先の参加者と積極的に交流し，工学・技術の分野だけでなく，文化について学ぶ積極的な姿勢が求められる。

学修単位の履修上の注意

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	1．実施時期 　夏季休業期間中もしくは学校に認められた期間 2．実施期間 　5 日間以上および合計30 時間以上 3．研修内容 　研修先のプログラムによる （研修先の文化に触れ，日本語以外の言語による交流がなされること） 4．研修先 　学校が認めた研修先（国外） 5．スケジュール 　事前に「単位認定申請・認定書」（所定の様式）を学生課教務係で受け取る。 研修終了後，速やかに 「研修等終了報告書」（様式任意） 「プログラム・要項」等，研修内容等が記された書類 「プログラム修了証書」 を提出する。 なお，必要に応じ，研修報告会等を実施することがある。	・異文化に対する理解を深めるとともに，他者・他国の立場に立ってその価値観の違いを認め，自国の文化についても紹介ができる ・英語をはじめとする，母語以外の外国語を使って，一定のコミュニケーションを図ることができる
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		

		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	3	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
				文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
				中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	3	
				自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	3	
				中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
				高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
				毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	3	
				自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	報告書	合計
総合評価割合	100	100
基礎的能力	100	100